

# 東急電鉄の取組み

2010年5月17日

東京急行電鉄株式会社

# 目次

1. 当社の路線概要
2. 混雑緩和への取組み
3. ネットワーク拡充への取組み
4. サービスアップへの取組み
5. 今後の取組み
6. 将来に向けた検討課題
7. 大都市の鉄道利用促進に向けて



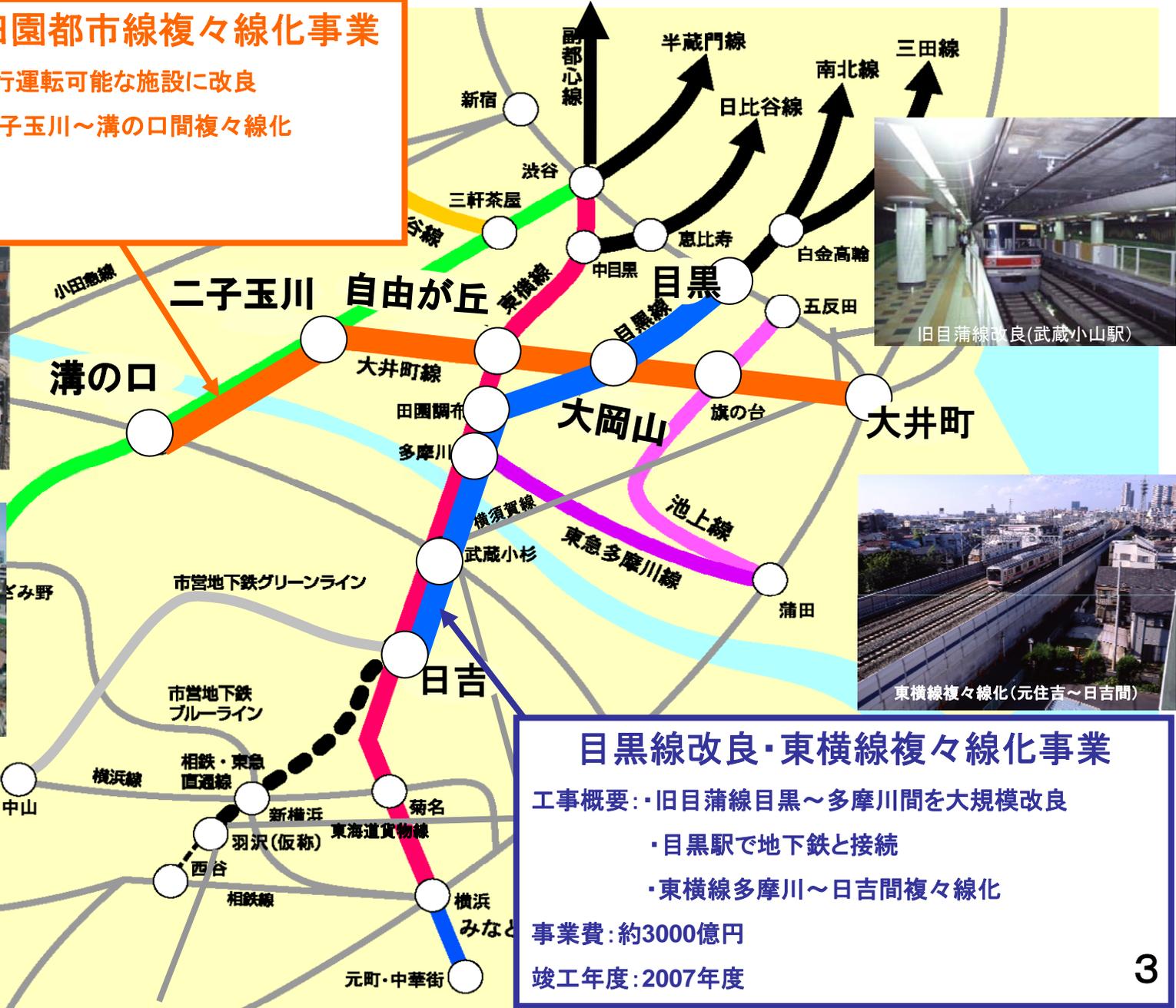
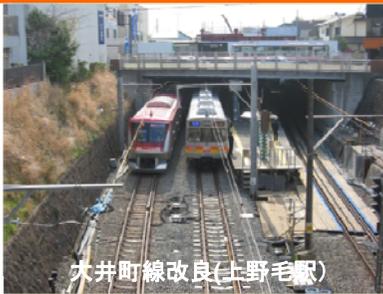
## 2. 混雑緩和への取組み

### 大井町線改良・田園都市線複々線化事業

工事概要:  
 ・大井町線を急行運転可能な施設に改良  
 ・田園都市線二子玉川～溝の口間複々線化

事業費:約1400億円

竣工年度:2009年度



### 目黒線改良・東横線複々線化事業

工事概要:  
 ・旧目蒲線目黒～多摩川間を大規模改良  
 ・目黒駅で地下鉄と接続  
 ・東横線多摩川～日吉間複々線化

事業費:約3000億円

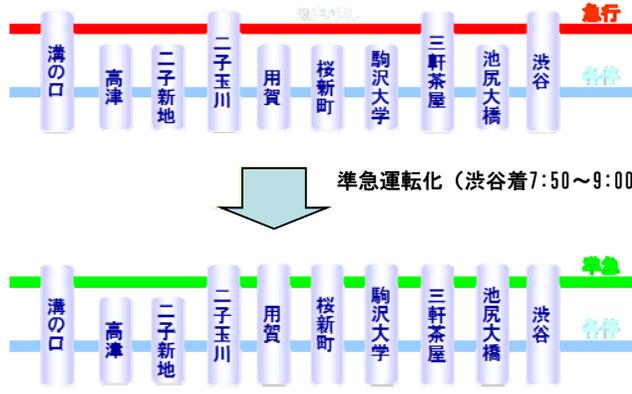
竣工年度:2007年度

# 2. 混雑緩和への取組み

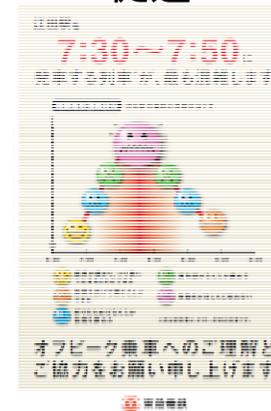
6ドア車両の導入



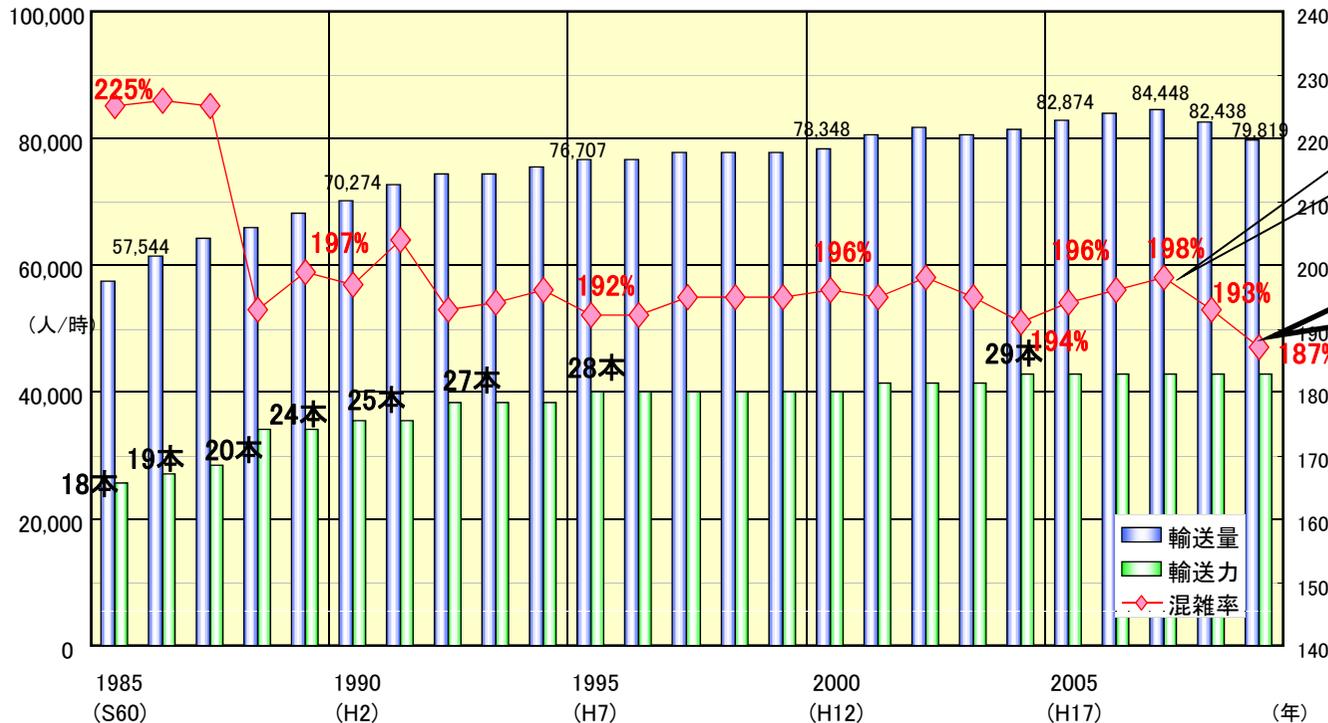
準急運転



オフピーク通勤の促進



早起き応援キャンペーン



2007年 198%  
2009年 187%

最混雑区間(池尻大橋⇒渋谷)における混雑率推移



# 4. サービスアップへの取り組み

エレベーター



エスカレーター



多機能トイレ

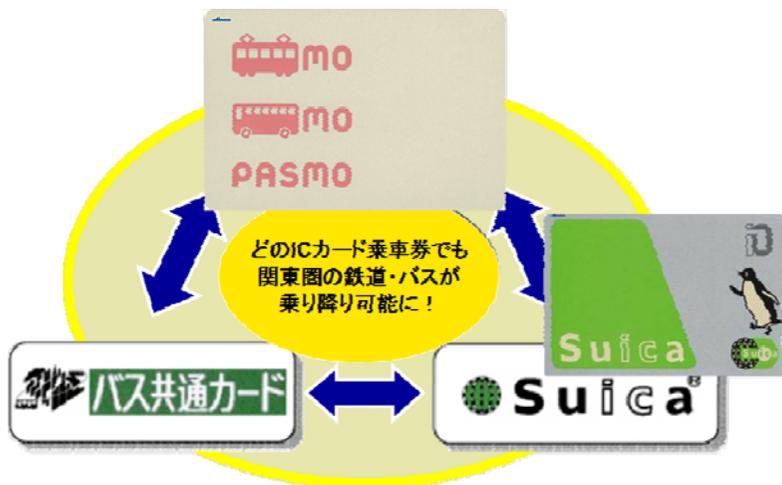


スロープ・誘導ブロック



段差解消対応済駅  
98駅中96駅

ICカード乗車券の導入・相互利用



サービス介助士の資格取得



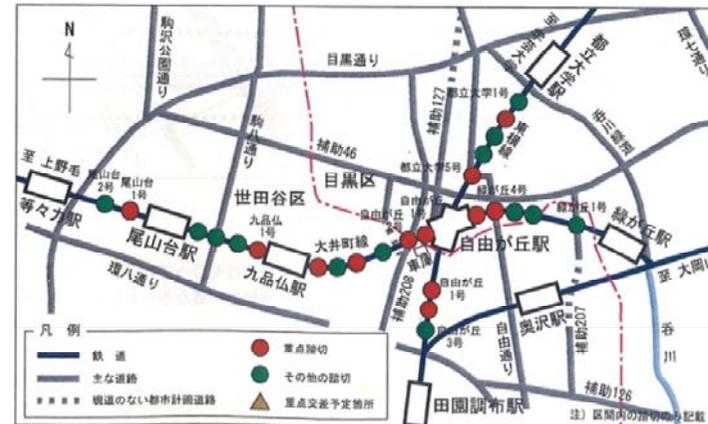
安全対策



# 5. 今後の取組み

## ○安全・安心にかかる取組み

- ・踏切立体交差化(自由が丘駅付近)
- ・ホームドア設置
- ・耐震補強工事
- ・バリアフリー化



自由が丘駅付近立体交差(出典:東京都HP)



ホームドア設置

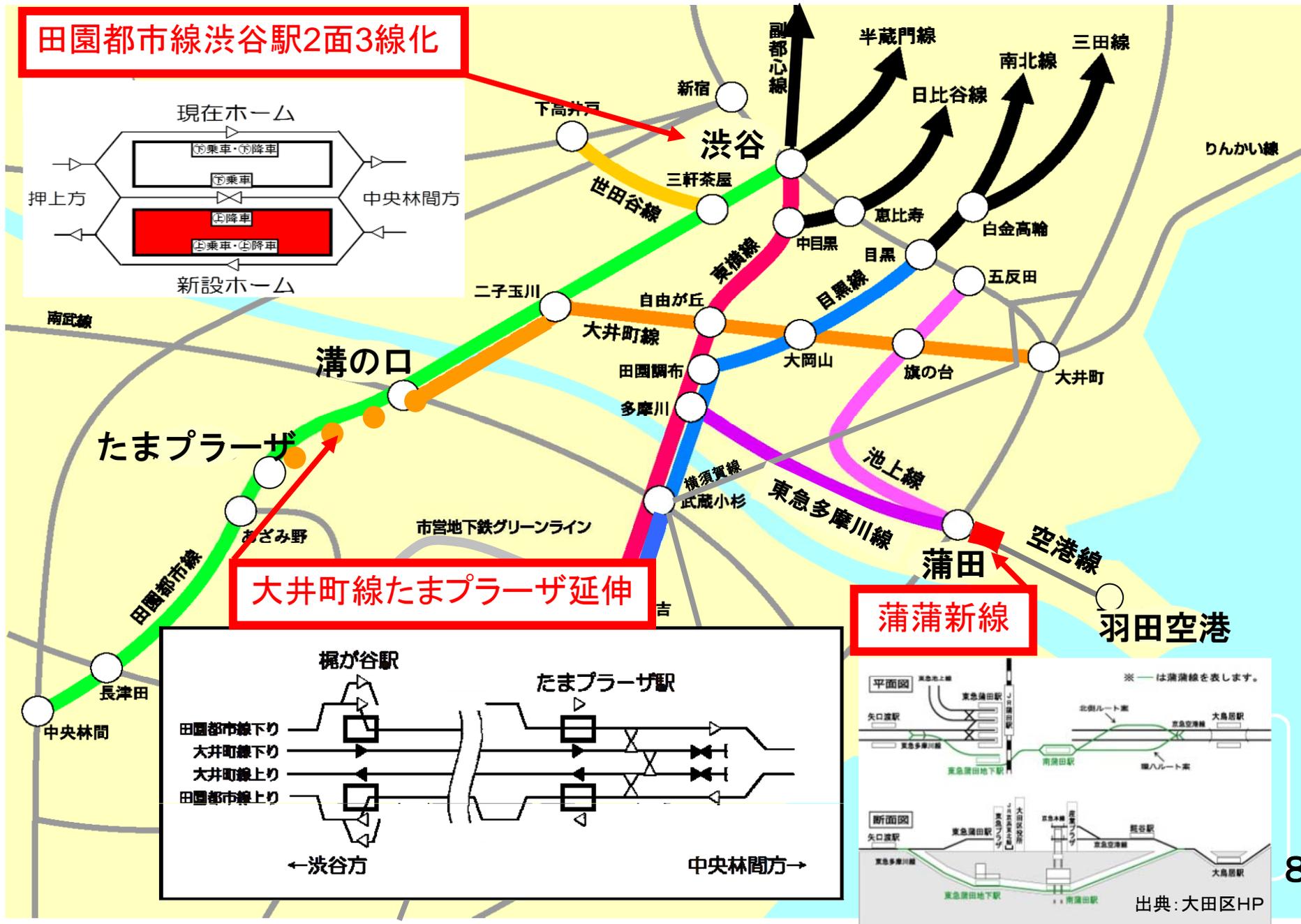


耐震補強(鉄筋補強)



耐震補強(繊維シート補強)

# 6. 将来に向けた検討課題



# 7. 大都市の鉄道利用促進に向けて

これまで

前提条件

- ・沿線人口の増加
- ・右肩上がりの経済成長

鉄道収入の増加

利用者  
【増加】

民間鉄道事業者  
【投資意欲増大】

設備投資の実施

補助スキーム活用

- ・P線工事
- ・特特制度
- ・都市鉄道等利便法
- ・連続立体交差事業
- ・駅総合改善事業
- ・バリアフリー補助

国

整備内容

- ・輸送力増強
- ・混雑緩和
- ・耐震補強
- ・踏切立体交差
- ・バリアフリー化

これから

前提条件

- ・少子高齢・人口減少時代
- ・施設の老朽化

鉄道収入の減少

利用者  
【減少】

民間鉄道事業者  
【投資意欲縮小】

設備投資の縮小

今後も必要な整備

更なる補助の  
充実が必須

国

- ・輸送障害対策
- ・踏切立体交差
- ・バリアフリー化
- ・ホームドアの設置
- ・耐震補強
- ・施設の老朽化対策

鉄道利用促進を図るために

設備投資を推進していくためのインセンティブが働くような仕組みが必須